

NY マーケットレポート (2018 年 3 月 9 日)

2018年3月9日 (金)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%	TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
日経平均	21469.20	+101.13	-5.69%	USD/JPY	106.69	106.94	106.17
ハンセン指数	30996.21	+341.69	3.60%	EUR/JPY	131.42	131.60	130.71
上海総合	3307.17	+18.76	0.00%	GBP/JPY	147.44	147.54	146.63
韓国総合	2459.45	+26.37	-0.33%	AUD/JPY	83.20	83.25	82.65
豪ASX200	5963.23	+20.37	-1.68%	NZD/JPY	77.63	77.73	77.06
インドSENSEX	33307.14	-44.43	-2.20%	EUR/USD	1.2318	1.2322	1.2295

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%	コモディティ	終値	前日比	年初来%
英FT100	7224.51	+21.27	-6.03%	NY GOLD	1324.00	+2.30	1.6%
仏CAC40	5274.40	+20.30	-0.72%	NY 原油	62.04	+1.92	2.7%
独DAX	12346.68	-8.89	-4.42%	COBTコーン	390.50	-3.00	9.2%
スペインIBX35	9686.10	+39.90	-3.56%	CRB指数	195.15	+1.487	0.7%
イタリアFTSE MIB	22745.60	+14.50	4.08%	ドル指数先物	90.12	-0.056	-2.17%
南ア全株指数	59169.23	+243.22	-0.56%	VIX指数	14.64	-1.90	32.6%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%	NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
米ダウ平均	25335.74	+440.53	2.49%	USD/JPY	106.78	107.05	106.69
S&P500	2786.57	+47.60	4.23%	EUR/JPY	131.42	131.90	131.22
NASDAQ	7560.81	+132.86	9.52%	GBP/JPY	147.92	148.54	147.67
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%	AUD/JPY	83.81	83.90	83.24
トロント総合	15577.81	+39.11	-3.89%	EUR/USD	1.2308	1.2334	1.2273
ボルサ指数	48556.45	+316.45	-1.62%				
ボベスパ指数	86371.44	+1386.83	13.05%				

※一部暫定値

3/12 経済指標スケジュール

08:50 【日本】1Q景況判断BSI[大企業全産業]
08:50 【日本】1Q景況判断BSI[大企業製造業]
14:00 【シンガポール】1月小売売上高
15:00 【日本】2月工作機械受注
16:00 【トルコ】1月経常収支
16:00 【スウェーデン】PES失業率
03:00 【米国】2月財政収支

3/12 主要会議・講演・その他予定

- ・ユーロ圏財務相会合
- ・欧州議会本会議 (～15日)
- ・米3年債、米10年債入札

Crypto Currency	本日	前日
CBOE Bitcoin(先物・期近)	9135	9440
CME Bitcoin(先物・期近)	9015	9400
Ripple (BSTP)	0.798	0.818
Ethereum (BSTP)	699.18	701.86
Bitcoin Cash	1020.95	1048.17

※USD 7:00時点

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.15%	-0.15%
5年債	-0.12%	-0.11%
10年債	0.05%	0.05%
30年債	0.77%	0.76%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	0.64%	0.63%
英国 10年債	1.49%	1.47%
フランス 10年債	0.89%	0.86%
米国債利回り		
2年債	2.26%	2.25%
3年債	2.43%	2.41%
5年債	2.65%	2.63%
7年債	2.81%	2.78%
10年債	2.89%	2.86%
30年債	3.16%	3.12%

NY 市場レポート

◀ NY 市場概況 ▶

NY 市場では、注目された米雇用統計で、景気動向を敏感に反映する非農業部門雇用者数が市場予想を上回る結果となったことから、ドル買いが優勢となった。ただ、賃金の伸びが鈍化したことが影響し、その後ドルは上値の重い動きが続いた。一方で、インフレ加速懸念が後退したことで NY 株式市場は大幅高となり、ナスダックは史上最高値を 1 カ月半ぶりに更新するなど、堅調な動きとなった。これにより、リスク回避の円買いが後退し、ドル円、クロス円ともに底堅い動きとなった。そして、米国とカナダの力強い経済データが発表されたことを受けて、原油価格が大きく上昇したことが好感され、ノルウェー・クローネ、オーストラリア・ドル、カナダ・ドルといった資源国通貨が米ドルに対して上昇した。一方、米国と北朝鮮が首脳会談の開催で合意したとの報道も影響し、円は大半の主要通貨に対して下落した。

米主要経済指標の結果

2 月米失業率 4.1% (予想 4.0%・前回 4.1%)

2 月米非農業部門雇用者数 31.3 万人 (予想 20.5 万人・前回 20.0 万人⇒23.9 万人)

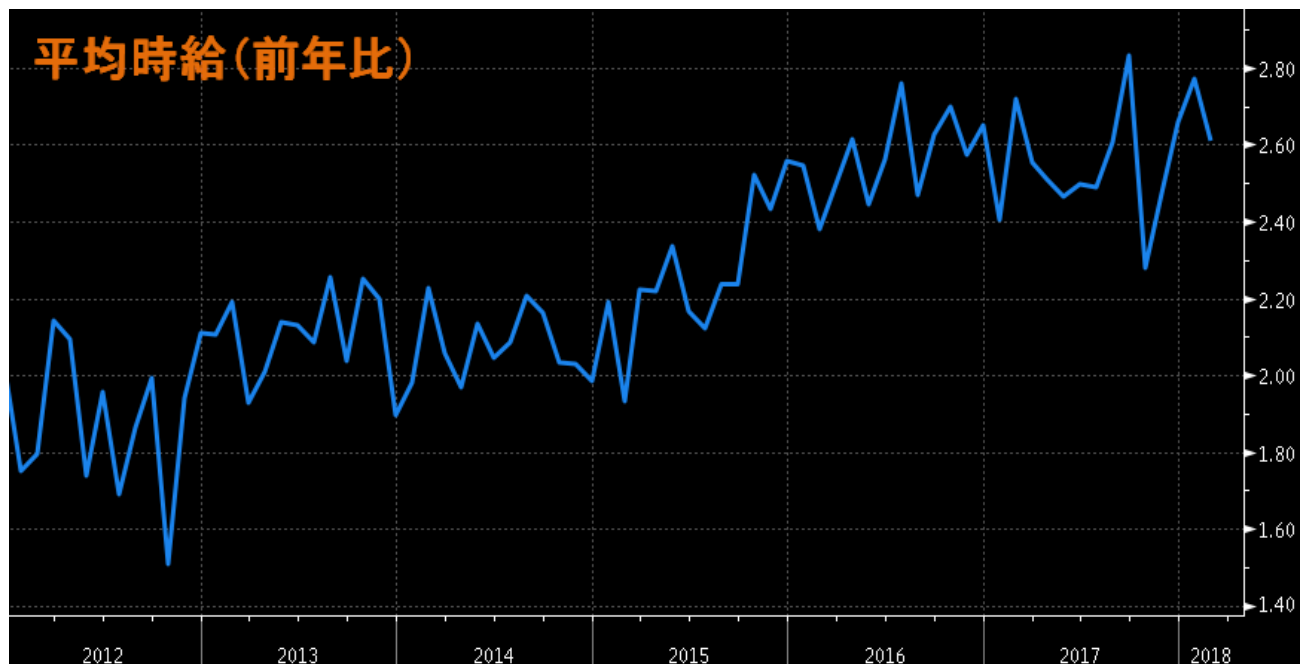


出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

2 月米平均時給（前月比） 0.1%（予想 0.2%・前回 0.3%）
 2 月米平均時給（前年比） 2.6%（予想 2.8%・前回 2.9%⇒2.8%）



出所：Bloomberg

2 月の米雇用統計は非農業部門雇用者数が+31.3 万人と市場予想を大きく回った。一方、失業率は 4.1%と市場予想を下回ったものの、歴史的低水準が維持された。労働参加率は 63.0 と前月（62.7%）から上昇、またフルタイム就労を希望しているものの、パートの仕事しか見つからない人なども含めた広義の失業率（U6）は、8.2%と前月から変わらなかった。

民間部門の雇用者数者は+28.7 万人、製造業は+3.1 万人、建設業は+6.1 万人、鉱業・林業は+0.8 万人。民間のサービス部門は+18.7 万人と伸びが加速した。そして、サービス業のうち、教育・医療サービスが+2.3 万人、小売業は+5.0 万人、一時雇用を含む企業専門サービスは+5.0 万人、政府部門は+2.6 万人となった。

1 時間当たりの賃金は、前月と比べ+0.04 ドルの 26.75 ドル、前年比では+2.6%となった。また、管理職を除いたベースでは前月比+0.06 ドルの 22.40 ドルだった。自発的離職率は 11.6%と前月から上昇。失業期間が半年以上の長期失業者数は前月から-2.4 万人の 139.7 万だった。

米当局者の発言

エバンス・シカゴ連銀総裁

- ・雇用統計は実に良いニュースだ
- ・米経済成長、今年 3%に達する可能性はある
- ・われわれは慎重な姿勢でいることが可能だ
- ・3 月 FOMC に関してはデータ確認を待ちたい
- ・インフレ率 2.5%は対称的な目標と整合し得る
- ・米経済は完全雇用を達成、大半の評価が示す
- ・持続的な 2%インフレ、近づいているようだ

ローゼンブレン・ストン連銀総裁

- ・政策による過剰刺激、景気好況と不況招くリスク
- ・3 回より多い利上げ、今年必要になる可能性ある

米主要株価は軒並み大幅上昇

米株式市場は、米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を上回ったことが好感され、主要株価は堅調な動きとなった。また、米朝首脳会談が実現する見通しとなったことも好感され、主要株価は大幅高となった。ダウ平均株価は、約 10 日ぶりの高値を付け、一方のナスダックは、終値ベースの過去最高値を約 1 ヶ月半ぶりに更新した。



出所：Bloomberg

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	素材	2.34%	1	シェブロン	3.41%
2	石油・ガス	2.30%	2	キャタピラー	3.03%
3	資本財	2.11%	3	GE	2.89%
4	テクノロジー	2.05%	4	JPM	2.88%
5	金融	2.04%	5	インテル	2.86%

出所：データを基に SBILM が作成

雇用者数の好調な伸びを受けドル上昇も、冴えない賃金伸びが影響し上値重い

NY 市場では、注目された米雇用統計で、景気動向を敏感に映す非農業部門雇用者数が市場予想を上回る結果となったことから、ドル買いが優勢となった。ただ、賃金の伸びが鈍化したことが影響し、その後ドルは上値の重い動きが続いた。そして、米国とカナダの力強い経済データが発表されたことを受けて、原油価格が大きく上昇したことが好感され、ノルウェー・クローネ、オーストラリア・ドル、カナダ・ドルといった資源国通貨が米ドルに対して上昇した。一方、米国と北朝鮮が首脳会談の開催で合意したとの報道も影響し、円は大半の主要通貨に対して下落した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。